

# 下水道ってなに？

下水道とは、わたしたちが使った水をきれいにすることで、安心・安全で清潔な生活を支えている施設のことです。

私たちは生きるために、地球から水を借りて生活していて、私たちが使った後の水にはたくさんの汚れが含まれています。もし、その水をそのまま川や海に流してしまうと、川や海の生き物が生きていくことができなくなってしまいます。

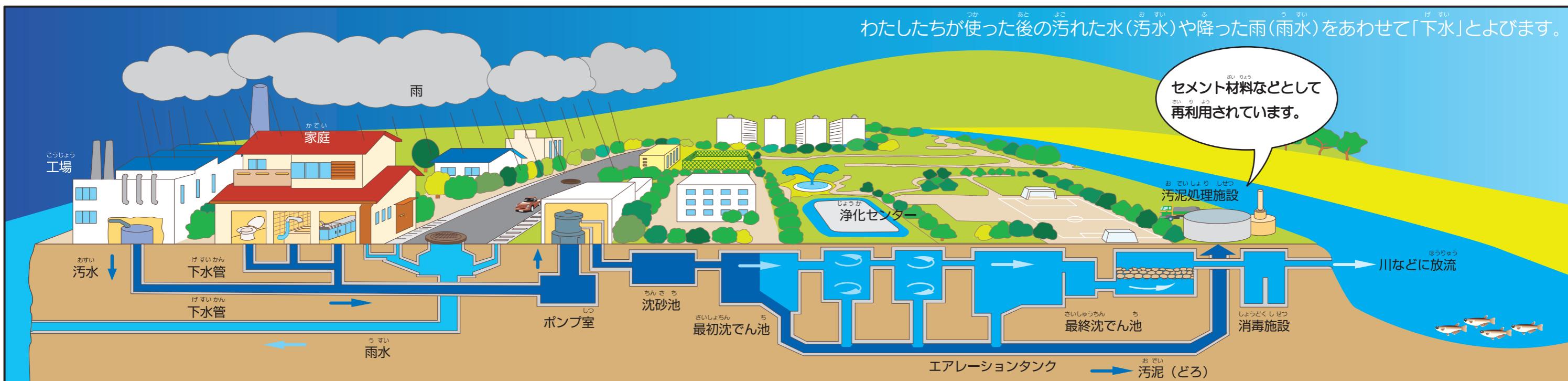
だから下水道で私たちが使った水をきれいにして川や海に返しています。

岡山市では1952年から下水道を作る工事を始めました。今では、9の浄化センターで汚れた水をきれいにしています。

きれいな水には限りがあるので、大切に使いましょう。



# 下水道のしくみ



## 下水を集めるしくみ

下水は、まず下水管に流れ込みます。この下水管は道路の下などに埋められていて、汚水を浄化センターまで運び、雨水を川や海まで運ぶ役目をしています。下水管には、掃除や調査、修理をするためのマンホールがところどころにつけられています。

## 汚れた水がきれいになるまで

- 沈砂池 ➤ 最初沈でん池 ➤ エアレーションタンク ➤ 最終沈でん池 ➤ 消毒施設
- 汚れた水の中の大きなごみや砂をここで取りのぞきます。
- ちいさなごみや砂は、この池をゆっくり流れていく間に底にしづみます。
- たくさんのがい生物を含んだ泥をませ、空気をたくさん吹き込んでやるとび生物が汚れを食べてくれます。
- 汚れを食べて重くなったび生物は、この池に沈められて、きれいになった水と汚泥に分けられます。
- きれいになった水を消毒して川や海へ流します。

# 下水道のやくわり

## 1 まちが清潔になる



よごれた水がまちに流れなくなるのでまちがきれいに保たれ、ハエなどの害虫やいややなにおいを防ぐことができます。

## 2 川や海がよみがえる



净化センターできれいになった水を海や川に戻すことで、環境のバランスを保ちます。

## 3 汚れたものを再利用する



净化センターできれいになった水は再生水として使われたり、汚泥からレンガや肥料を作ったりして、資源を再利用しています。

## 4 まちを浸水から守る



雨を下水管で川まで運んだり、地下にためたりすることでまちに雨水がたまって水びたしになるのを防ぐことができます。